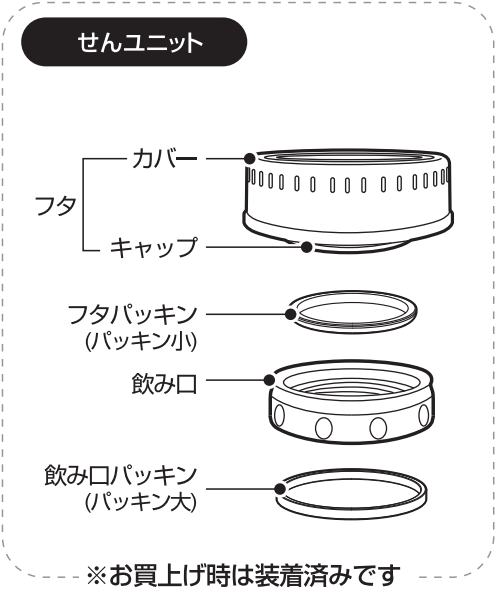
アンティーク缶ボトル

取扱説明書

このたびは当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この製品は家庭用です。
飲料物の保温、保冷以外には使用しないでください。また、業務用として使用しないでください。
ご使用前に、この取扱説明書をよく読んでから使用してください。お読みになった
後も、いつでも見られるように大切に保存してください。



※お買上げ時は装着済みです

≪注意≫ はじめてご使用になる前に、確実に装着されていることをご確認ください。

説明書中のイラストは実際のものと異なる場合があります。
また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

ご使用になる前に

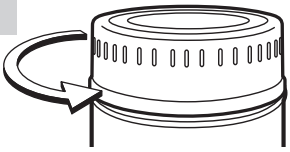
- はじめてご使用になる前に、本体・せんユニットに傷・凹み、ひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 底面の製造ロットシールははがさないでください。
- はじめてご使用になる時は、本体内側・せんユニットを食器用洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。
- 品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合は、ご使用にならないで、お買い求めのお店または当社お客様相談室までご連絡ください。

D170622

ご使用方法

1 せんユニットをはずします。

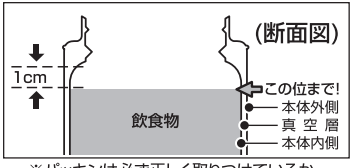
せんユニットを矢印の方向に
まわしてはずしてください。



2 飲食物をいれます。

飲食物の量は右記図の位置までにしてください。
入れすぎると、せんユニットを閉めたときに
飲食物が溢れ出る原因になります。

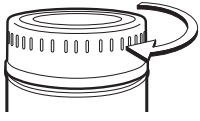
本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、数分間予熱(予冷)すると保温(保冷)に効果的です。



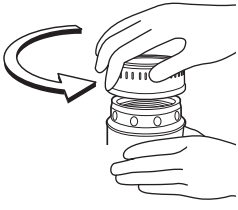
※パッキンは必ず正しく取りつけているか
確認をしてください。

3 せんユニットを閉めます。

本体を立てた状態で、せんユニットを矢印の方向にまわして
確実に閉めてください。閉めた後は、フタが確実に閉まって
いることを確認してください。



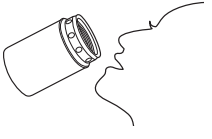
注 せんユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないで
ください。内容物が溢れ出たり、漏れたりして、ヤケドやものを汚す
原因になります。



4 飲みものを飲みます。

1.本体を立てた状態で、本体を押さえて、
フタを矢印方向にまわしてはずします。

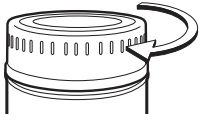
2.飲み口に口をつけて、ゆっくり傾けながら
飲みものを飲みます。



注 熱い飲みものを入れた場合は、ヤケドにご注意ください。

5 飲み終わったら。

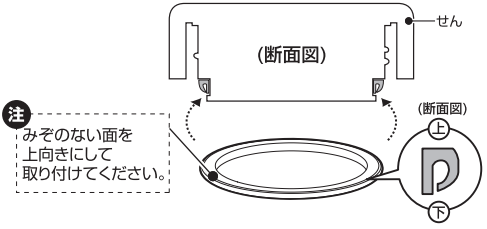
本体を立てた状態で、フタを矢印の方向にまわして確実に
閉めてください。閉めた後は、せんユニットが確実に
閉まっていることを確認してください。



パッキンの取り付け方・はずし方

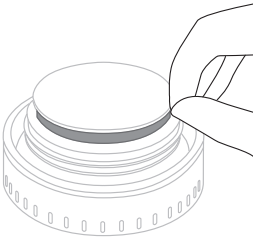
パッキンの取り付け方

上下の方向を確認し、フタに正しく取り付けてください。
取り付けた後は、パッキンが浮かないように
まんべんなく指で押してください。



パッキンのはずし方

指でひっぱり外してください。

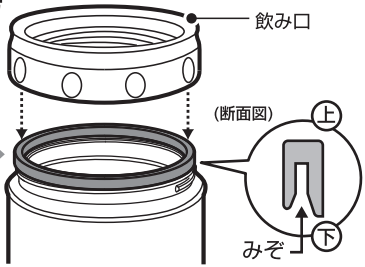


■ 飲み口パッキン(パッキン大)の取り付け方

みぞのない面を上向きにして取り付けてください。
上下の方向を確認し、パッキンのみぞに本体先端部を
あわせてください。取り付けた後は、パッキンが
浮かないようにまんべんなく指で押してください。

みぞのない面を上向きにして取り付けてください。

飲み口パッキンの取り外しの際に紛失及び
未装着に注意してください。



注 本体に直接パッキンを装着してから、飲み口を取り付けてください。

お手入れについて

●お手入れはぬるま湯でうすめた食器用洗剤を使用してください。
●ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
●長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保存してください。

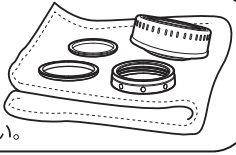
本体のお手入れ

ボトルブラシやスポンジできれいに洗い、汚れを落とした後、流水でよくすすぎ、十分に乾燥させてください。
本体内側の汚れが落ちない場合、水で薄めた酸素系漂白剤を本体内側に入れ30分間（目安）つけ置きしたあと、よく水で洗ってください。

注 酸素系漂白剤を使用する際は、本体はせんユニットで密閉しないでください。本体の内圧が上がり、せんユニットが破損する恐れがあり危険です。
酸素系漂白剤の注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。

注 本体・せんユニットは水中に放置しないでください。

せんユニットのお手入れ



それぞれきれいに洗い、水分を拭きとって、十分乾燥させてください。
長期間ご使用にならない場合は、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させてから保存してください。洗浄時にパッキンを外す場合は、パッキンの付け間違いのないようにパッキンの上下を確認してください。

お手入れ上の注意

●お手入れの際は次の点を必ず守ってください。

■本体・せんユニットは煮沸しないでください。
熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因にもなり危険です。

■食器用洗浄機・食器用乾燥機は使用しないでください。
熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因にもなり危険です。

■本体・せんユニットは水中に放置しないでください。
サビや保温・保冷不良などの原因になります。

■塩素系漂白剤、シンナー、ベンジン、金属タワシ、みがき粉、クレンザーなどは使用しないでください。
サビやキズ、保温・保冷不良の原因になります。

■本体外側には漂白剤を使用しないでください。
本体塗装・注意シールなどの剥がれの原因になります。

⚠ 警告

●こどものいたずらに注意して、乳幼児の手の届くところには置かないでください。ヤケドの原因となり危険です。

⚠ 使用上の注意

●パッキンが確実に装着されていることを確認してください。
飲料物が漏れ、ヤケドやものを汚す原因となり危険です。
パッキンの取り外しの際には紛失及び未装着に注意してください。

●熱い飲食物を入れた場合、次の点を必ず守ってください。
■傾けた状態、または顔を近づけた状態でせんユニットを開けないでください。
内圧が上がり、飲食物が急激に出たり、飛散したりしてヤケドの原因になり危険です。
■本体を急に傾けないでゆっくり飲んでください。
急に傾けると、飲食物が勢いよく出てヤケドなどの原因になり危険です。

●せんユニットが確実に閉まっている事を確認してください。
閉めかたが不十分ですと、傾けた場合飲食物が漏れ、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。
また、せんユニットは真っ直ぐに閉めてください。

●飲食物の保温・保冷以外に使用しないでください。

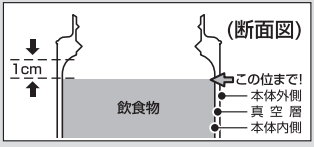
●ストーブやコンロなどの火気に近づけないでください。
ヤケドや製品の変形、変色の原因になります。

●電子レンジでの加熱はしないでください。
火花が飛び危険です。

●冷凍庫には入れないでください。

●せんユニットを開閉するときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。
飲食物が溢れ出す原因になります。また漏れて、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。

●飲食物の量は右記図の位置までにしてください。
入れすぎるとフタが開かなくなったり、せんユニットを閉めたときに飲食物が溢れ出す原因になります。
また、使用中に漏れ、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。



⚠ 使用上の注意

●沸騰直後の飲みものを入れるとせんユニットが熱くなる場合がありますので、ご注意ください。
特に、本体を横にするとせんユニットに熱が伝わりやすくなりますので、本体を横にした状態で放置しないでください。

●飲食物を入れた状態で長く放置しないでください。
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、せんユニットが開かなくなったり、飲食物が噴き出したり、せんユニットが破損して飛散することがあり危険です。

●飲食物を入れた後、本体を逆さにして漏れのないことを確認してください。

●次のものは絶対に入れないでください。

■ドライアイス・炭酸飲料水
内圧が上がり、せんユニットが開かなくなったり、飲食物が噴き出したり、せんユニットが破損して飛散することがあり危険です。

●においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。
「お手入れについて」に従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。

●落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。
変形や割れ、保温・保冷不良の原因になります。またせんユニットの破損原因になります。

●改造・修理・分解は絶対にしないでください。
故障、事故の原因となり危険です。

●バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。
万一の漏れを防ぎます。

●パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。
万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損・故障の原因になる恐れがあります。

●運転中は危険ですので使用しないでください。
車内や衣服を汚したり、ヤケドの原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。

⚠ 使用上の注意

●ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となる恐れがあります。

●飲食物を保温したい場合は、よく温めたものを入れてください。
品質表示上の保温効力とは、室温20度±2度において、製品に熱湯をせんユニット下端まで満たし、縦置きにした状態で、その温度が95度±1度になった時からせんユニットを付けた状態で6時間放置した場合の温度です。
保冷効力とは、室温20度±2度において、製品に冷水をせんユニット下端まで満たし、縦置きにした状態で、その温度が4度±1度になった時からせんユニットを付けた状態で6時間放置した場合の温度です。

●飲食物はできるだけ早くお召し上がりください。
腐敗の原因となります。6時間以内を目安に一度にお召し上がりください。

●本体及びせんユニットに長時間飲食物が付着すると、色移りする場合がありますが、品質上問題ありません。
「お手入れについて」に従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。

●長時間、車内など高温の場所に放置しないでください。
変形など故障の原因になります。

部品名		材料の種類
本体	内びん	ステンレス鋼
	胴部	ステンレス鋼 (アクリル樹脂塗装)
せんユニット	カバー	ステンレス鋼
	キャップ	ポリプロピレン (発泡スチロール内蔵)
	飲み口	ポリプロピレン
	パッキン	シリコーン

困ったときのQ&A

Q 飲食物が漏れたときは?

A
1. せんユニットがしっかり閉められているか確認してください。
2. 飲食物を入れすぎていないか確認してください。飲食物の量は適正な位置までにしてください。
3. パッキンが確実に取り付けられているか確認してください。
   上下の方向を確認し、本体に正しく取り付けてください。
   取り付けた後は、パッキンが浮かないようにまんべんなく指で押してください。

Q 本体内側が変色したときは?

A
1. 汚れが付着している場合、食器用洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。
2. 斑点状の赤いサビが付着している場合
   水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%ほどに薄めたぬるま湯を本体内側に入れ、約30分後に柔らかいスポンジなどでよく洗ってください。
3. ザラザラしたものが付着している場合
   水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を10%ほどに薄めたぬるま湯を本体内側に入れ、せんユニットを取り付けずに約3時間後に柔らかいスポンジなどでよく洗ってください。

Q 保温・保冷が効かないときは?

A
1. 熱い(冷たい)飲食物をいれているか確認してください。本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、数分間予熱(予冷)すると保温(保冷)に効果的です。
2. 固形の具材(例えばじゃがいもなど)は、中までしっかりとあたためてください。
3. 飲食物の量が少なくないか確認してください。飲食物の量を多くすると効果的です。

Q 異臭がするときは?

A
本体内側、せんユニットに汚れが付着していないか確認してください。ご使用後は、きれいに洗い十分に乾燥させてください。また、ご使用後は必ずお手入れしてください。

せんユニットのパッキン類は消耗品です。
1年を目安にご確認いただき、作動がスムーズでなかったり、
表面にザラつきや損傷がある場合は交換してください。

部品のご購入について

●交換部品は必ず当社の純正部品をご使用ください。
●ご購入は下記ホームページからご注文してください。

※お電話でのお問い合わせはお待たせする場合がございます。
また、お客様相談室より担当部署におつなぎいたしますのでお調べまでにお時間を頂戴しております。
価格や在庫についてのお問い合わせはインターネットをご利用頂いた方が早くご案内できますので、インターネット環境をお持ちのお客様は下記、Do-cookingをご利用ください。
ご注文につきましても同じく、Do-cookingのご利用が便利です。

ご購入方法

http://www.do-cooking.com/index.html もしくは、
QRコードにアクセスし、ご購入ください。

＊Do-cooking画面上の「オンラインショップ」を選択（クリック）し、「商品検索」にて品番を入力して検索してください。品番は製品裏のシールに記載されています。

ドウシシャのパーツ購入は
Do-cooking 情報ページ　Do-cooking　検索
http://www.do-cooking.com/index.html
携帯からはこちら

お問い合わせ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに、当社お客様相談室までご連絡ください。

発売元　株式会社ドウシシャ

お客様相談室
〒556-0023　大阪市浪速区稲荷1-6
0120-104-481
【受付時間　9:00～17:00　祝日以外の月～金】
※商品名、品番をご確認の上、お電話を頂きますようお願い致します。
※お電話を頂いた際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させて頂きますので、ご了承ください。

www.doshisha.co.jp

MADE IN CHINA

携帯からはこちら